こだま通信
Kodama Communication H29.8 No.91

林野庁　近畿中国森林管理局
箕面森林ふれあい推進センター

子ども達に「主体的・対話的で深い学び」を！！
～小中学校教員向けの森林環境教育研修～

箕面森林ふれあい推進センターでは、「森林環境教育の推進」を図るため、教職員への普及啓発や森林技術指導、森林環境教育プログラムの教材の提供などに積極的に取組んでいます。大阪府箕面市教育委員会では、環境教育推進において、「児童・生徒自らが地球規模で生じている環境問題について考え、環境の保全やよりよい環境の創造に向けて、身近なところから具体的に実践する態度を身に付けさせるよう努めること」とされており、取組みに当たって、恵まれた箕面市の自然環境、とりわけ森林を学習に取り入れることの有効性について、教員の理解を深め、指導力の向上を図りたいとしているところです。

当センターと教育委員会は平成16年度から連携して、毎年、箕面市内の国有林を活用した森林環境教育研修を開催しています。

森林環境教育教員研修

7月27日（木）、箕面国有林「勝尾寺園地」において、大阪府の箕面市教育委員会と共催による平成29年度「森林環境教育教員研修」を開催しました。

当日は箕面市内の採用2年目の小中学校教員等、35名（小学校29名、中学校6名）が参加し、午前は森林環境教育の重要性と進め方等の講義と、午後からはネイチャーゲームと間伐体験に分かれて体験を主体に行いました。

開会に当たり、箕面森林ふれあい推進センターの白川所長から、「森林環境教育は子ども達の「生きる力」を育む上で大変有効。先生自身が体験して理解を深め、今後の教育の場で森林環境教育を実践して欲しい。」と挨拶しました。

林野庁 近畿中国森林管理局　箕面森林ふれあい推進センター
TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055
〒530-0042　大阪市北区天満橋一丁目８－７５　近畿中国森林管理局３Ｆ
URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
E-mail　kc_fureai@maff.go.jp

京都教育大学の山下宏文教授「森林環境教育の重要性と進め方」を講義

小学校での各教科での森林の扱いや里山、森林環境教育のポイント（体験する、知る、関わる）、新学習指導要領の中で求められている「主体的・対話的で深い学び」として森林環境教育の有効性などについて講義。参加者からは、「森林環境についての正しい理解と、これからどうしていけば良いのか、行動に移すことが大切だと分かった。また、自然を見て感動できる感性も養っていきたい。」などの意見。

箕面公園昆虫館の中峰空館長「授業で使える！昆虫豆知識」を講義

館長が自ら撮影された虫達の写真等を基に、刺すハチと刺さないハチがいることや、触るだけで危険な虫がいることなど、また、先生達を困惑させるほど生き物好きな子どもがいる場合は、博物館や昆虫館に委ねるのが得策などと講義。参加者からは、「昆虫のことを詳しく聴く機会がなかったので、初めて知ることが多く楽しく聴きました。」や「なるほどと思える内容で、ぜひクラスの子どもにも伝えたいと思った」などの意見。

大阪森林インストラクター会（５名）の指導による「ネイチャーゲーム」を体験

まず、教員全員で、自分の背中につけられた生き物の名前を相手に質問して推理する「動物交差点」等を体験した後に、ネイチャーゲーム班（21名）は集めた色々な葉っぱで勝負する「葉っぱジャンケン」などを体験しました。参加者からは、「葉っぱジャンケン、カモフラージュなど、学校の中でもできそうなものがありました。学校でも子ども達と一緒にしてみたい。」などの意見。

きんきちゅうごく森林づくりの会（３名）の指導による「ノコギリで間伐」を体験

現地で指導者から間伐作業の注意点の説明や、作業手順の実演を見学した後、3班（14名）に分かれて間伐と玉切りを実践。参加者からは、「間伐体験は是非やるべき。危険は伴うが大変さや意味を知るうえで必要だと思う。」などの意見。

授業における森林環境教育は必要か（アンケート集計結果）

小学校教員では29名中、24名（83%）が必要だと回答し、中学校教員では6名中、4名（67%）が必要だと回答がありました。しかし、実際に授業が行われていると回答したのは小学校教員の7名にとどまっており、理由としては「授業時間」や「教員の意識の問題」などの意見が出されました。

また、意見の中には「体験的に学んだり、現在の問題をどう解決していくかを考えていくことは、とても大切であると感じた。」「教員側が、まず学ぶことが必要。自分を含め森林環境教育に対しての知識がまだまだ少ない。」などの意見もあり、今回の体験が実践的な森林環境教育に繋がることに期待して、箕面森林ふれあい推進センターでは、引き続き教育委員会と連携して実践での支援や体験学習の場の提供などに取組んで行きたいと考えています。